

フラッシュメモリプログラマ PG-FP5 ご使用上のお願い

フラッシュメモリプログラマ PG-FP5の使用上の注意事項を連絡します。

- プログラムファイルのダウンロードに関する注意
- ファイルチェックサム結果の表示に関する注意
- 読み出しコマンド内の表示コマンド実行に関する注意
- データフラッシュの最小単位書き込み機能使用時の注意

1. プログラムファイルのダウンロードに関する注意

1.1 該当ソフトウェアおよびバージョン

PG-FP5と使用する以下のソフトウェアが該当します。

PG-FP5用ファームウェア V2.10以前

PG-FP5用プログラミングGUI V2.10以前

1.2 該当マイコン

PG-FP5の全サポートマイコン

1.3 内容

データレコードが250バイト以上のプログラムファイルをダウンロード時、ダウンロード途中でプログラミングGUIと PG-FP5本体に通信異常が発生し、ダウンロードを完了できない場合があります。

通信異常が発生すると、プログラミングGUIのステータスバーに「異常終了」と表示されます。

1.4 回避策

コンパイラでデータレコードを250バイト未満に変更してください。

1.5 恒久対策

以下のバージョンで改修しました。(2013年9月30日リリース)

PG-FP5用ファームウェア V2.11

PG-FP5用プログラミングGUI V2.11

ソフトウェアリビジョンアップの詳細は、以下のURLで参照ください。

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=130930tn3>

2. ファイルチェックサム結果の表示に関する注意

2.1 該当ソフトウェアおよびバージョン

PG-FP5と使用する以下のソフトウェアが該当します。

PG-FP5用ファームウェア V2.10以前

PG-FP5用プログラミングGUI V2.10以前

2.2 該当マイコン

RXファミリ、SuperHファミリ および R8Cファミリ

2.3 内容

ファイルチェックサムコマンドを実行後、
プログラミングパラメータウィンドウの「ファイルチェックサム」エリアに、
正しいファイルチェックサム結果が表示されません。

2.4 回避策

ファイルチェックサムの結果は、「ファイルチェックサム」エリアではなく、
アクションログウィンドウを参照してください。

2.5 恒久対策

以下のバージョンで改修しました。(2013年9月30日リリース)

PG-FP5用ファームウェア V2.11

PG-FP5用プログラミングGUI V2.11

ソフトウェアリビジョンアップの詳細は、以下のURLで参照ください。

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=130930tn3>

3. 読み出しコマンド内の表示コマンド実行に関する注意

3.1 該当ソフトウェアおよびバージョン

PG-FP5と使用する以下のソフトウェアが該当します。

PG-FP5用ファームウェア V2.11以前

PG-FP5用プログラミングGUI V2.11以前

3.2 該当マイコン

V850ファミリのうち、データフラッシュ および ID Tagを搭載した製品

3.3 内容

以下3.4に示す条件で

メニュー「デバイス」-> コマンド「読み出し」-> コマンド「表示」を
実行した場合、実際に読み出したアドレスとアクションログウィンドウに
表示されるアドレスが異なります。(注)

注: 実際に読み出したアドレスは、コマンド「読み出し」から
コマンド「インテルフォーマットで保存」または
「モトローラフォーマットで保存」を実行して作成されたHEXファイルで
参照できます。

3.4 発生条件

以下のすべての条件を満たす場合に発生します。

- (1) 動作モードエリアでブロック単位のモードを選択している。
- (2) データフラッシュのコマンド処理対象範囲として
ブロック番号0を含まない値を入力している。

3.5 解決策

次バージョンで改修計画中です。

4. データフラッシュの最小単位書き込み機能使用時の注意

4.1 該当ソフトウェアおよびバージョン

PG-FP5と使用する以下のソフトウェアが該当します。

PG-FP5用ファームウェア V2.11以前

PG-FP5用プログラミングGUI V2.11以前

4.2 該当マイコン

V850ファミリ:

V850E2/Fx4-L、V850E2/FF4-G、V850E2/FG4-G および V850E2/Px4-Lグループ

4.3 内容

以下4.4に示す条件で使用するとプログラミングGUIが正常動作せず、
誤ったダイアログが表示されたり、操作できなくなったりします。

4.4 発生条件

以下のすべての条件を満たす場合に発生します。

- (1) プログラムファイルのアドレス範囲がフラッシュメモリのアドレス範囲から
外れている。
- (2) データフラッシュの最小単位書き込み機能が有効になっている。

4.5 回避策

プログラミングGUIを再起動してください。

4.4に示す条件の場合、再起動時、最小単位書き込み機能が無効に
変更されます。

なお、4.4(1)で示した、アドレス範囲の設定については、
「プログラムファイルサイズ監視機能」を有効にすることで、
エラー発生前に書き込みを中断することが可能です。

機能の詳細は、PG-FP5ユーザーズマニュアルをご覧ください。

4.6 恒久対策

次バージョンで改修計画中です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.